

日本水環境学会第 57 回年会併催 テクニカルランチミーティング

「環境・排水試料の全窒素・全りんと栄養塩分析は 1 台で完結!

～連続流れ分析装置 (CFA) のご紹介・実例～」

日時 2023 年 3 月 16 日 (木) 12:25~13:25

会場 年会 D 会場 (愛媛大学共通教育棟 2 階 A21 教室)

主催 ビーエルテック株式会社

参加はこちら <https://www.bl-tec.co.jp/news/tlmtg2023/>

参加費 無料、昼食付 (先着順、直接会場までお越しください)

演者

丸谷 靖幸 様 (九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門 助教)

濱脇 亮次 様 (広島県立総合技術研究所 保健環境センター)

原 弘之 (ビーエルテック株式会社 営業部)

テーマ 「環境・排水試料の全窒素・全りんと栄養塩分析は 1 台で完結!

～連続流れ分析装置 (CFA) のご紹介・実例～」

概要

海水や環境水、工場排水、工業用水等の分析を自動化する装置のメーカーであるビーエルテック社より、連続流れ分析 (CFA: Continuous Flow Analysis) 装置オートアナライザーの紹介をさせていただきます。また、実際に装置ご使用者様をお呼びし、運用における実例も発表いただきます。

現在、全窒素・全りんおよび栄養塩の分析では、吸光光度法もしくは UV 法を用いた手分析をされているご施設様が多いと認識しております。世の中のニーズに伴い、弊社は半世紀以上前からそれらを自動化・省力化するオートアナライザーの製造販売およびお客様サポートを行ってまいりました。お陰様で大学・高等専門学校および都道府県の環境分析を行うご施設様において多くご導入いただいております。既に環境省告示 59 号や JIS K 0102 にも採用され、本装置 1 台で全窒素・全りんのみならず、栄養塩も測定可能でございます。

この度、本会ご参加の皆様へ全窒素・全りんならびに栄養塩分析における分析法の原理や概要、連続流れ分析における測定精度・感度についてご紹介いたします。また、オートアナライザーをお使いいただいている九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門 丸谷 様ならびに広島県立総合技術研究所 保健環境センター 濱脇 様より装置使用のメリット、研究への応用、実例を踏まえてご紹介いただきます。